



## 空を見てワクワクした気持ちを思い出す

小さい頃から空を見るのが好きでした。天気、惑星、星座について、地学の辞典を読んで調べていました。いつしか他の勉強にも興味を持つようになって、地学が好きという気持ちは忘れていました。高校の地学のテストの後、先生が私に「もしかして、地学好き？」とわざわざ声をかけてくれました。先生がなぜそう思ったかはわかりませんが、幼い頃に空を見てワクワクしていた時の気持ちを思い出させてくれました。

## 理学部ではなく、地球を学べる学部

先生が思い出させてくれた「地学の勉強が面白い」という気持ちで、文系と迷っていましたが理系を選択しました。理学部で地学を学ぶ方向で進路を探していました。富山大学について調べたときに「都市デザイン学部ってあまりないな、面白そう」と、思いました。元々人と違うことをするのが好きなので、普通に理学部に進学して地学を学ぶよりも面白そうだなという直感で、富山大学都市デザイン学部地球システム科学科を受験することに決めました。

## 友人の誘いでサイフェス参加

高校で一番仲の良かった友人が富山大学の理学部に進学しました。母校からの富山大学進学者は私も知らないくらい昔にしかいないはずで、クラス人数も少ないのに奇跡のような話です(笑)安心感があり、学部1年次は新しく交友関係を広げる必要性を感じず、目の前の授業に必死で取り組みました。2年次に「人手が足りないから参加しない？」と大学の友人に誘われて「じゃあやってみようかな」くらいの軽い気持ちでサイエンスフェスティバル(以下、サイフェス)に参加しました。当時のサイフェスは、前年度の引継ぎもほとんどない中で進めていくような感じでした。当時の実行委員長が明るく楽しい方で、わくわくして準備を進めることが出来ました。

## 思いもよらず多忙な学生生活に

サイフェスで交友関係が広がり、大学で勉強以外のことに熱中する経験をしました。3年次も続けて実行委員を務めました。大学生活が楽しくなったきっかけであるサイフェスは私にとって、大切にしたい特別な場です。今年は現在の3年生主体ですが、実行委員長から「先輩、手伝ってください!」と言われ、当日のお手伝いでサイフェスに参加しました。その傍ら、授業をきっかけに国際学会で論文発表をすることになりました。8月に台湾へ行き、英語で論文発表してきました。初海外で嬉しい思いもありましたが、教職もとっていたのでとても多忙でした。



## お世話になった高校の先生へ

高校は少人数の学校だったこともあって、本当に手厚いサポートをしていただきました。そのおかげで、様々なことを好きなように学んでいます。国際学会で発表するなんて高校時代の私からは想像もつがなく、驚かれます(笑)。今でも苦手を克服したわけではありませんが、元気に学んでいます!友人共々元気で!(笑)少しでも誇れる教え子になれていたら嬉しいです。